

# 南米千りに比例代表制！ 独裁政権の遺物、不当な制度

チリでは新たな選挙制度として比例代表制を導入する法案を可決し、独裁政権の時代から25年をかけて不当な政治制度（多数二名制）にノの審判を下しました。

昨年暮れの総選挙では共産党は八議席から二一議席と躍進したところですが、小選挙区制という民意を歪める選挙制度のもと、自民党圧勝という結果に終わり、多数の議席を得た自

民公明政権は暴走をはじめています。次に示す票は、比例代表だったらと云う数字です。なんと共産党は54という数字になります。

表1：2014年総選挙の「並立制」(議員定数475)の選挙結果と比例配分試算議席数

党派名	当選者(人)	議席占有率	比例得票率	比例配分(人)
自民党	290	61.1	33.1	158
民主党	73	15.4	18.3	87
維新の党	41	8.6	15.7	75
公明党	35	7.4	13.7	65
共産党	21	4.4	11.3	54
次世代の党	2	0.4	2.6	13
社民党	2	0.4	2.4	12
生活の党	2	0.4	1.9	9

幸福実現党と無所属は省略した。自民党は追加公認を加えると291議席になる。

近年、民意がゆがめられるという裁判がいくつも起こされ、それぞれ憲法違反という司法判断が下されています。

それによつて0増5減とか何とか小手先の改革がやられてますが、小選挙区制といういちばんの憲法違反を残しておいては議会制民主主義は成り立ちません。

自公政権も、民主党、維新の党も小選挙区制にメスを入れることは考えていません。

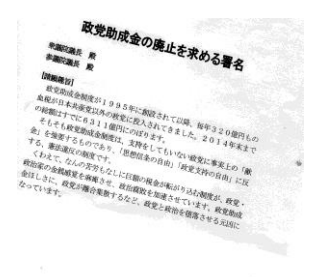
これをこのままにしておくことは、民意を反映しない選挙を続けることになるし、どうせ変わらないという気持ちになり投票に行かない人は増えるばかりです。

増えた共産党の議員には、抜本的に選挙制度を改革するという気概を持つて国会で新しい風を吹かしてもらいたいものです。

# 民主主義壊す 有害な制度！ 政党助成金

昨年総選挙で21議席へと前進した日本共産党は、参議院でブラック企業規制法案を提出し、国会論戦ともあいまつて、厚生労働省に実態調査と違法行為の是正をさせ、政治を動かしました。議案提案権を得た衆議院でも、政党助成法廃止法案を国会が始まった1月26日に衆議院に提出しました。

日本共産党は、政党助成金という制度の国民的思想 信条の自由を侵害する憲法違反の制度という本質、日本の政治をいかに劣化 堕落させているかなどの害悪について、国会論戦でも広く明らかにし、署名運動をはじめ国民的運動を広くおこなって政党助成金廃止のために全力をつくします。署名にご協力ください。



# 議員のひとりごと 常山 知子

表面で報告したとおり、健康づくり「食育」の視察で静岡県吉田町隣の牧之原市へ行きました。吉田町は人口約3万人。多くの自治体で人口減少がいわゆる中で増え続けています。

大井川と駿河湾に面し、大きな工業団地や水産加工所など働く場所が多くある町です。町の財政も豊かなようです。大変うらやましい限りです。

資料として 吉田町健康づくりのこよみ平成26年度版をもらいました。保存版として、町民に配布しているものが、内容は、◎各種検診 ガン検診など一年間の予定。◎母と子の検診こよみ◎予防接種のこよみ◎健康体力づくり教室の年間予定。

更に町報でお知らせを行っています。このように年間の予定表が配布されれば、いつ検診をうけようか体力づくりに参加してみようなど一年の予定がたてられるのではないのでしょうか。

現に検診率など大変良い数字でした。多くの専門職の採用、そして吉田町役場には5名の女性課長がいます。全体の三分の一これもやはり町長の姿勢でしょうか？

大企業の内部留保を賃上げに！  
原発ゼロこそ経済に展望ひらく！

生活・法律相談 お気軽にご相談下さい  
町議会議員 常山 知子  
電話・F A 62-6733